

Syllabus Id	Syl.-112011
Subject Id	Sub.-112007120
更新履歴	110315 新規
授業科目名	英語γ (English γ)
担当教員名	勝呂讓 (Suguro, Yuzuru)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年 (H.23)
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	選択制教室2

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

国際社会における英語の重要性に鑑み、日本の中堅技術者に求められる実用的な英語能力の修得を目指す。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英検準2級問題で50%以上の正答を得る能力を持っていること。

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査	<ol style="list-style-type: none"> 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 目標達成度試験の実施要領は別に定める。
---------------	---

授業目標

- TOEICで450点を取得するのに必要なレベルの英語を聞き取れるようにする。
- 英検2級の筆記試験問題で60%の正答率を得るための文法・構文・語法能力を修得する。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション、実力判定試験	授業の目標、概要、スケジュール、評価方法、受講にあたっての諸注意等の説明および伝達。	
第2回	1st Day	英検・TOEIC 筆記テストの出題形式&攻略法	
第3回	1st Day	// (続き)	
第4回	1st Day	// (続き)	
第5回	2nd Day	頻出単語の復習・確認	
第6回	2nd Day	// (続き)	
第7回	2nd Day	// (続き)	
第8回	前期中間試験		×

第9回	答案返却・解説		×
第10回	3rd Day	頻出熟語の復習・確認（続き）	
第11回	3rd Day	//（続き）	
第12回	3rd Day	//（続き）	
第13回	4th Day	重要文法事項の復習・確認	
第14回	4th Day	//（続き）	
第15回	前期末試験		×
第16回	答案返却・解説		×
第17回	4th Day	重要文法事項の復習・確認（続き）	
第18回	5th Day	読解問題の攻略法	
第19回	5th Day	//（続き）	
第20回	5th Day	//（続き）	
第21回	6th Day	リスニングテストの出題形式&攻略法	
第22回	6th Day	//（続き）	
第23回	6th Day	//（続き）	
第24回	臨時試験		×
第25回	答案返却・解説		×
第26回	7th Day	重要会話表現の復習・確認	
第27回	7th Day	//（続き）	
第28回	7th Day	//（続き）	
第29回	学年末試験		×
第30回	答案返却・解説		×

課題

予習を義務付ける。 オフィスアワー：特に設けることはしない。個人的な質疑には適宜対応。

評価方法と基準

評価方法

筆記試験は原則としてテキストの既習範囲から作成した新たな問題を解かせる。評価は通年の試験得点の合計点と出席状況、受講態度、学習意欲、外部試験の結果等を総合的に見て判定する。学年末試験を特に重視するわけではない。

評価基準

テスト（定期試験および臨時試験）に基づく評価：60%、その他の資料・要因に基づく評価：40%
学習到達達成度自己評価：若干

教科書等	英検予想問題ドリル改定新版（旺文社）、リスニング教材プリント
先修科目	総合英語A、総合英語B、英語W、英語C
関連サイトのURL	http://www.eiken.or.jp
授業アンケートへの対応	真摯に受け止め、授業改善に資する。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。